

## 合格者祝賀会開く

### 総合資格

総合資格学院を運営する(株)総合資格(本社・東京都新宿区、岸隆司社長)は9日、1級建築士、2級建築士、宅建主任者それぞれの合格者を招いて『平成23年度合格者祝賀会』を全国各地で開催した。

新試験3年目を迎えた平成23年度1級建築士試験では、同学院が教室を開講する36都道府県の合格者数4369人のうち、同学院から2259人の合格者を輩出し、合格者占有率51・7%を達成した。

福岡では、博多区のホテルセントラーザ博多で祝賀会が開催され、天神校・久留米校・小倉校の合格者、講師、学院関係者約120人が出席したほか、(社)福岡県建築士事務所協会福岡支部の井上

精二支部長、(社)日本建築構造技術者協会九州支部の尾宮洋一支部長が祝いに駆けつけた。||写真||



主催者を代表して、天神校の川添泰弘支店長は「仕事と勉強の両立は厳しいものだったと思いますが、見事合格されたことに敬意を表する。資格取得後はどのように過ごすかが大切となる。次のステップへ向け新たな気持ちで走り出して頂きたい」と挨拶。

続いて、来賓を代表して尾宮支部長が「資格を取得されたことで肩の荷

が下りたことと思うが、社会に出れば責任を背負うこととなる。視野を広げ、伸び伸びと自分が出ることやってみてほしい」と祝辞を述べた。

講師祝辞では、2級建築士設計製図担当の竹下幸栄氏が「皆が教わったのは基礎であり、まだまだ知らないことも多い。社会に出てからは多くを学び、向上心を持って日々の生活を過ごして欲しい」と合格者にエールを送った。

合格者答辞では、2級建築士に合格した小川祐季氏が「多くの人の支えがあり試験に合格することが出来た。これからは知識や経験をたくさん増やし、社会貢献していきたい」と今後の抱負を語った。

乾杯を行ったあと、合格者と講師らは合格を称えあうとともに、新たな門出を祝った。